

# 阪神地区私立大学教職課程研究連絡協議会

## 2011年度第1回（通算232回）幹事校会記録

日時：2011年7月6日（水） 14：10～17：20

場所：学校法人常翔学園 大阪センター 304教室

出席（11大学18名）：

追手門学院大学（井ノ口淳三）

大阪音楽大学（大前哲彦）

大阪工業大学（酒井恵子、疋田祥人、山口洋之、西川泰行、半田 孝）

大阪産業大学（谷田信一、山田全紀、瀬島順一郎）

大阪電気通信大学（川地亜弥子）

関西大学（原 徹、広瀬義徳）

関西学院大学（冨江英俊）

近畿大学（杉浦 健）

四天王寺大学（八木成和）

摂南大学（吉田佐治子）

桃山学院大学（野尻 亘）

司会：半田 孝

記録：八木成和

### 議事

#### （1）2011年度第7回幹事校会および定期総会の記録の確認について

1）第7回幹事校会の記録に関して、つぎの3点の訂正がなされたのち、承認された。

##### ①p.3 （3）2011年度定期総会および第1回課題研究会の運営について

- ・5行目から6行目の文章を「水谷 勇 会計監査委員（神戸学院大学）の到着が遅れる可能性があり、その際はもう一人の会計監査委員である池上 徹氏（関西福祉科学大学）と同じ大学である伊藤 一雄 氏（関西福祉科学大学）に監査報告の代理をお願いしたい。」と修正した。

##### ②p.3 （3）2011年度定期総会および第1回課題研究会の運営について

- ・8行目：（誤）田畑寿城氏 → （正）多畑寿城氏

##### ③p.3 （3）2011年度定期総会および第1回課題研究会の運営について

- ・16行目：（誤）注意喚起をする → （正）了解を求める

2）定期総会の記録に関して、つぎの5点の訂正がなされたのち、承認された。

##### ①p.5 27行目：（誤）17校 → （正）18校

##### ②p.5 1. 2010年度定期総会の記録確認

- ・1行目：（誤）酒井局長 → （正）酒井事務局長

③p.6 3. 2010年度決算報告ならびに監査報告

- ・4行目：(誤) 水谷勇氏 → (正) 水谷勇会計監査委員

④p.7 9. その他

- ・2行目：「成功への祈念と感謝の気持ちを込めて、」を削除した。

⑤p.7 9. その他

- ・「9. その他」のフォントをMS明朝体に直した。

(2) 全私教協理事会報告について

正田祥人事務局次長から、資料に基づき報告がなされた。

- ・阪神地区協議会による研究大会に対する寄付金について報告がなされた。
- ・「教師教育研究」への加盟校と関係のない者からの論文投稿について報告がなされた。
- ・教員養成制度検討委員会の今後の運営方法について、川地 亜弥子 教員養成制度検討委員より以下の補足説明がなされた。第一に、今後、本委員会の委員数を増員し、本会の活性化を図ること、第二に、文部科学省より届いた教員養成に関する調査アンケート(7月29日まで)の依頼に対して意見があれば同委員まで連絡してほしいことが述べられた。

(3) 全私教協研究大会および阪神地区分科会の運営について

1) 大会会場校の富江英俊氏(関西学院大学)から大会運営にご協力いただいた先生方へのお礼に続き、以下の3点について報告がなされた。

- ・大会参加者数は616名であり、情報交換会の参加者数は220名であった。大会全体では黒字の見通しであるが、情報交換会は少し赤字の可能性もあるとのことであった。
- ・収支報告に関しては、全私教協で検討中であり、検討後、阪神教協で会計監査を行う予定であるとのことであった。
- ・大会参加者への参加登録の事務等については、事前の準備にアルバイトを使用しないで、大学関係の企業に一括委託したので経費節減につながったということであった。

続いて、酒井恵子事務局長から阪神地区分科会について報告がなされた。参加者は40名程度であり、有意義な内容であったとのことであった。

(4) 2011年度第2回および第3回課題研究会の運営について

1) 2011年度第2回課題研究会の運営について

第2回課題研究会のテーマについて、教職大学院と教員養成制度、実習後の学生の成長を測るアンケート項目の作成方法、教員採用選考試験に関する指導方法、授業実践報告の4つのテーマの提案がなされた。

議論の結果、「教師教育実践交流」というテーマで近畿大学の教育行政学、四天王寺大学短期大学部の教職実践演習、大阪音楽大学の教科教育法に関する3つの授業実践の報告をしていただくことで了承された。今後、報告者の調整を行い第2回課題研究会の日程を決めることとした。

## 2) 2011 年度第 3 回課題研究会の運営について

以下の 2 つの方法により各大学より情報収集を行い、課題研究会のテーマを検討することとした。第一に、10 月の幹事校会までに「阪神教協教職課程データベース（平成 22 年度版）」の冊子体を加盟大学に郵送する際に、課題研究会で取り上げるテーマについてアンケートを行う。第二に、原 徹氏（関西大学）に他大学との情報交換によりテーマに関する情報収集を行っていただくこととした。

## (5) 『阪神教協教職課程データベース（平成 22 年版）』について

酒井恵子事務局長より 10 月の幹事校会までに「阪神教協教職課程データベース（平成 22 年度版）」の冊子体を各大学に郵送するとの報告がなされた。

## (6) 阪神教協レポートについて

### 1) 「阪神教協レポート」増刷について

酒井恵子事務局長より「阪神教協レポート」の部数が足りないとの報告がなされ、編集担当の山田全紀氏（大阪産業大学）からこれまでの経緯について報告がなされた。例年 550 部であったが今回は 500 部しか発注していなかったため、50 部程度不足する事態となり、再度 50 部増刷したいとのことであった。増刷を了承し、今後は、全私教協会会員校 1 冊、阪神教協会員校 2 冊を配布し、加えて執筆者 2 冊以上配布可能とすることとした。

これまでの残部は事務局校に保管されているが、過年度分は、次年度の総会時に配布し、10 部を残して残りを廃棄することとした。

### 2) 執筆要綱について

疋田祥人事務局次長から、資料に基づき説明がなされ、以下の 3 点について現状の不備が指摘された。すなわち、第一に、Web 上への掲載について明記していないこと、第二に、投稿資格が明記されていないこと、第三に、執筆謝礼について明確でないことであった。以上の提案をもとに、投稿資格、投稿可否の決定方法などについて意見が出され、今後、事務局で原案を作成していただき検討することとした。

## (7) 2011 年度会費納入状況について

疋田祥人事務局次長から、資料に基づき会費納入状況について説明がなされた。問題点として、同一払込人名の識別方法について指摘がなされ、今後検討するとのことであった。

## (8) その他

### 1) 幹事校会 ML について

疋田祥人事務局次長から、幹事校会メーリングリストの登録者の確認が完了し、7 月末に大阪電気通信大学のメーリングリスト・サーバーを閉鎖するとの報告がなされた。

### 2) 今後の記録担当について

酒井恵子事務局長から、10月の幹事校会の記録担当者は出席者の状況を鑑みて願する旨、要請がありました承された。

3) その他

杉浦 健氏(近畿大学)より「教師教育研究」の書評の推薦図書について依頼があり、3冊提案された。

以上